2026 年 5 月

持続可能なコミュニティのための研究に関する原則の宣言

（和文仮訳）

[Statement for Principles: Research for Sustainable Communities]

前　文[1,2]

気候緊急事態の高まり、不平等の拡大、および急速な都市化を考慮すると、農村地域および都市周辺地域、非公式居住区およびその他の多様な居住形態を含め、世界中の都市およびコミュニティを持続可能、アクセス可能、かつ居住可能な場所へと変革することを支援するための研究が必要とされている。公的資金によって支えられる組織として、グローバル・リサーチ・カウンシル（GRC）の参加機関は、自らの研究費支援から積極的な社会的影響を促進する責任を認識する。研究は、課題の特定および理解を支援するとともに、地域、地域圏およびグローバルなレベルにおいて広範な社会的ニーズを促進させる新規の実施アプローチを支援することができる。これには、社会的およびコミュニティのリスク要因に対処してすべての人の福祉を促進する、健康でレジリエントな環境の促進が含まれる。

GRC の参加者は、持続可能なコミュニティおよび都市のための研究が何を意味するかを再解釈している。それは、すべての人のための機会およびレジリエンスに根ざした、コミュニティ*についての*研究からコミュニティ*と共に行う*研究への転換を意味する。そのような研究は、もはやその生み出すもののみによって評価されるのではなく、それが人々の生活および地域システムにもたらす変革によって評価される。また同時に、有意義な変化が漸進的であり、長い時間軸の中で展開することも認識される。

持続可能なコミュニティのためのこの共同ビジョンを通じて、GRC は、すでに確立されてい

---

[1] グローバル・リサーチ・カウンシル（GRC）は、自発的で参加者に基づく組織であり、それぞれの国内研究エコシステムの中における参加機関の異なる使命、権限および任務を認識するものである。その立場、決定または宣言は、参加機関に対して拘束力を持たない。これらの支持は、参加機関が各国の政策および優先事項と整合する形で宣言を採用し得ることを反映するものである。

[2] 米国国立科学財団（NSF）は、研究資金配分機関間の協働および協力に専念する組織としての GRC に対するコミットメントを維持しているが、2026 年の原則の宣言および行動要請については、その内容が同機関および米国政府の優先事項と整合していないため、支持する立場にはない。

る広範で普遍的な原則の上に構築し、地域に根ざしつつも規模の変化に対応可能な解決策を支援することができる。2024 年の GRC「持続可能な研究」に関する原則の宣言に基づき、また 2026 年の GRC「オープンサイエンス」に関する原則の宣言と整合させつつ、2026 年 GRC 年次会合の参加者は、持続可能なコミュニティのための公的資金による研究にとって基本的であるものとして、以下の原則を認識する。

原 則

コミュニティによる、そしてコミュニティとともに行う研究

GRC 参加機関は、必要に応じ、先住民の知識体系を含む地域の知識体系を、研究アジェンダおよび優先事項の共同設計における積極的なパートナーとして統合する取組の推進に貢献できる。

持続可能なコミュニティのための研究は、有効で規模の変化に対応可能な取組を支援する解決策を共創し、試験し、評価し、規模の変化に対応させることによって、複数の課題に対処しようとする。それは、多様な知識領域（法的、財政的、参加型、技術的、社会的および健康）を統合して、成功する変革プロジェクトを可能にする。

持続可能なコミュニティのための研究は、コミュニティのすべての構成員の生活の質を向上させることを目指し、障壁を克服しつつ、コミュニティのアイデンティティ、文化遺産および生活様式を保護し、変革がすべての人にとってのアクセスおよび機会、ならびにレジリエンスを促進させる地域の価値を高めることを確実にする。また、研究者のコミュニティと共に研究を行う能力を構築するためのトレーニングも重要である。

GRC 参加機関は、市民参加型科学プログラムへの資金提供の重要性を認識する。また、誰が変革を推進するのか（政策立案者、都市計画者、コミュニティリーダー、および民間部門の主体を含む）、および誰が意思決定および成果の具体化に含まれるのか、あるいは除外されるのかを調査する支援方針研究への資金提供の重要性も認識する。

成功は社会的および環境的利益を意味する

GRC 参加機関は、現在、短期的成果および個人の学術的キャリアを長期的な社会的利益よりも優先している評価および査定システムを、責任ある形で再考することに合意する。GRC の「責任ある研究評価の諸次元」に従い、また研究の成功を主として出版物、データ、またはグローバルな可視性の観点で測定するのではなく、持続可能性のための研究の影響は、研究によってコミュニティがよりレジリエントとなり、主体的に参加し、権限を持ち、そして自らの未来を形作ることができるようになっているかどうかによって最もよく評価される。

社会的利益は環境的利益と手を携えて進むものであり、研究機関は、その運営および研究活動において長期的な環境スチュワードシップを支援することにより、自然環境を保存し保護するよう努めるべきである。健全な環境は、コミュニティの福祉のための不可欠な前提条件である。

研究における人工知能（AI）の社会的および環境的に有益な利用

研究における AI およびデジタルツールの開発および応用は、人々の働き方および生活の仕方を変革する機会を有している。社会がこれらの機会から利益を得ることを確実にするために、AI によって使用されるデータおよびモデルが、研究者、イノベーターおよびコミュニティに対して、透明で、安全で、信頼できる方法で利用可能であることが極めて重要である。

AI は、知識、サービスおよび意思決定ツールへのアクセスを改善することにより、コミュニティに利益をもたらす開発を支援し、デジタルおよび AI リテラシーを向上させることができる。重要なのは、すべての人のための機会、透明性、持続可能性を前進させ、そして利益がコミュニティ全体にわたって分配されることを確保することである。

AI によって可能となる研究は、研究における多言語性の支援を通じて影響を増大させることもできる。これは有意義なコミュニティ参加のための重要な要因である。また、AI によって使用されるデータおよびモデルがアクセス可能であり、アルゴリズムバイアスを含むバイアスを回避することも極めて重要であり、これは 2025 年の GRC「人工知能時代における研究管理」に関する原則の宣言で扱われている。

責任を持ってかつ持続可能に設計された AI は、すべてのコミュニティに利益をもたらす開発を支援し、知識、サービスおよび意思決定ツールへのアクセスを改善することにより、コミュニティ間のデジタル格差を縮小するのに役立つことができる。AI によって可能となる研究は、それが証拠に基づき、透明であり、説明責任を伴い、能力構築に寄与する場合、影響を増大させることができる。

オープンサイエンスは持続可能なコミュニティのための研究を支援する

持続可能な開発を達成するためには、早期かつ継続的な関係構築、オープンサイエンスおよびデータ共有に関するコミットメント、ならびに地域コミュニティに力を与える統合的な政策および資金調達の枠組みが必要である。持続可能なコミュニティのための研究とオープンサイエンスはともに、複雑な地球規模の課題に科学が対処するためには、研究がどのように統治され、評価され、伝達されるかに関して変化が必要であることを明確にしている。

コミュニティ認識および研究リテラシー

持続可能なコミュニティのための効果的な研究は、研究が地域で定義された課題に対処するための実用的なツールとしてどのように使用され得るかについて、コミュニティの構成員の間での認識および理解を積極的に支援する。

そのような認識を構築するためには、参加型の双方向コミュニケーション、信頼構築、および研究プロセスを神秘的なものではないものとし、コミュニティの優先事項、生活に根ざした経験、および意思決定のニーズと直接的に結び付ける反復的な関与が必要である。

研究促進要因および支援システムへのアクセス

効果的なコミュニティ主導型およびコミュニティ参画型研究は、すべての促進機関および資源への公平なアクセスおよび機会に依存する。制度的な不平等および制約を検討し、それらを克服することは、世界中の都市およびコミュニティの変革を目的とした研究において、アクセス、参加および機会をすべての人にとって拡大する。

GRC 参加機関は、地域および地方の大学、研究機関、公的機関、および資金配分機関が、コミュニティが研究スキルを開発し、適切なプロジェクトを設計し、適切な資金メカニズムにアクセスすることを支援するうえで重要な役割を果たすことを認識する。

これらの主体は、長期的なパートナーおよびファシリテーターとして機能し、コミュニティ、知識体系、および政策または資金環境の間のギャップを橋渡しするのを助ける。

文脈に応じた資金および制度的能力

持続可能なコミュニティのための研究は、多様なガバナンス、経済的および制度的文脈の中で機能する。地域の研究インフラ、自治体の能力、および長期資金へのアクセスの違いについては、何が実現可能であるかを具体化し、機会およびインパクトを拡大するための資金設計においてはそれを考慮するべきである。公的研究資金配分機関は、長期的な時間視野、適応性のある助成メカニズム、および地域および地方の機関への対象を絞った支援を含め、能力の違いおよびコミュニティの現実を考慮に入れた、柔軟で文脈に応じた資金アプローチを採用すべきである。GRC は、アクセスおよび機会を拡大することによって課題に対処するために、共有学習および協働を促進することができる。